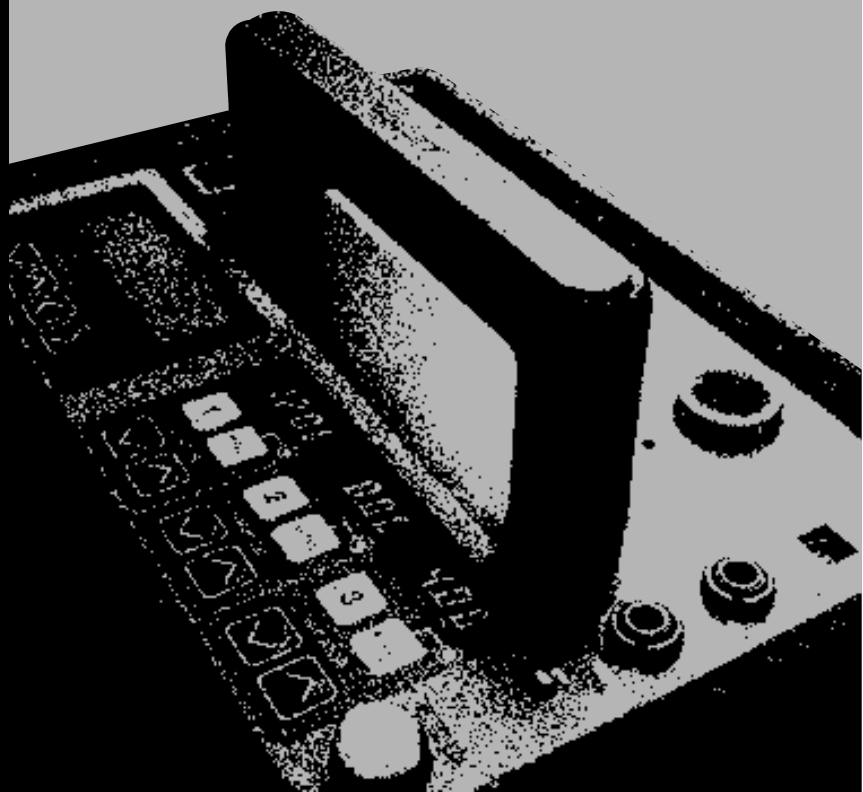


COMET

CW-2400T_c

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見
られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメット CW-2400Tc 電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、コンピューターと接続し、15 台 45 灯を一括コントロールすることが可能です。更に世界各地で撮影ができるようバイポルテージ回路を内蔵しております。出力コネクターの選択で複数の光量比が得られ、各出力を FULL から 1 / 32 (5EV) まで 1 / 10EV ステップにより独立 3 回路調光で調光することができます。

また、各灯を独立して出力を変えずに色温度を $\pm 100\text{K}$ ステップで 3 ステップずつ可変をすることができ、更に、閃光時間を出力に応じ最長(Long) 1/180 秒/最短(Short) 1/15,000 秒の切り換えが可能です。液晶パネルとスイッチの組合せにより、操作性、視認性を重視したプロフェッショナル専用機です。なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえ、ご活用ください。

付属品	● AC コード (インレットタイプ 5m)	1 本
	● CR シンクロコード 5m (ホーンジャックタイプ)	1 本
	● ヒューズ ストロボ用 15A	2 本
	モデリング用 8A	1 本
	モデリング用 4A	1 本
	● PC ソフト (CD-ROM)	1 枚
	● USB コード	1 本
	● 電源部接続シンクロコード	1 本
	● 取扱説明書	1
	● 保証書	1
	● ご愛用者登録カード	1

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1 ~ 4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6 ~ 7
4. 操作手順	8 ~ 9
5. 出力モード	10
6. 出力バリエーター	10
7. モデリングランプモード	11
8. 充電モード	11
9. 充電サウンド	11
10. 色温度選択/閃光スピード選択機能	12
11. フォトセル	13
12. 不発光警報	13
13. 過熱警報	14
14. ヒューズ交換	14
15. コンピュータとの接続・操作	15 ~ 20
16. 保証とアフターサービス	21
17. 仕様	22
18. 寸法図	23
19. 多言語版「PCC System」のインストールについて	24

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

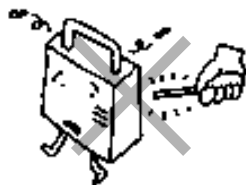


- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。

十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

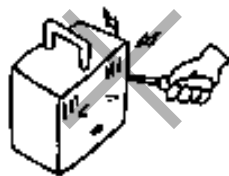


- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがつかないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。

取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

- 使用電圧は AC110V/AC220V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



注 意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。

コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

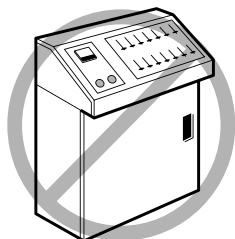


- 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。



2 使用上のご注意とお願い

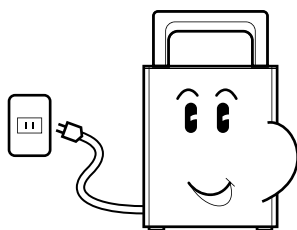
- 本機の定格入力電圧は AC110 V～AC220 V ± 10% (50/60 Hz) 自動検知切り換え方式（ワールドボルトテージ）です。定格電圧以外での使用は故障の原因となります。モデリングランプは使用電圧によって異なります。必ず使用電圧に合った定格のモデリングランプと交換してください。



- 調光機に接続しての使用はしないでください。
本機および調光機を破損する恐れがあります。

- 本機の適合ヘッドは CAX-32H ヘッドです。
その他の CX タイプヘッドをご使用になるときは最大入力定格（ストロボおよびモデリングランプ定格）にご注意ください。

定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけではなく大変危険です。



- 本機で CX-12 バイチューブヘッド、レクト-126 ヘッドの使用はしないでください。
電源部を壊す恐れがあります。

- 使用されないときでも 1 カ月に 1～2 回は通電することをお薦めします。

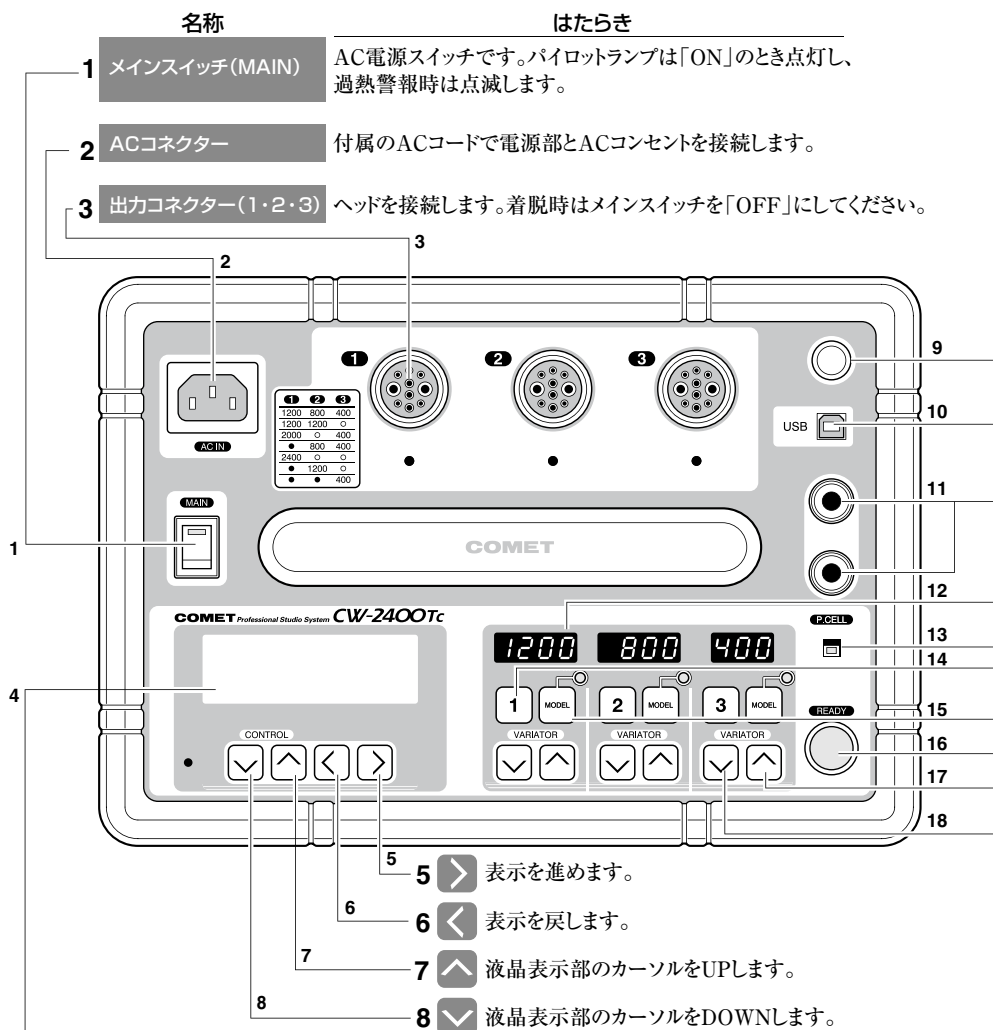
3 カ月以上使用しなかったときは、出力を FULL にして最低 4 時間通電だけを行い、その後ご使用ください。

- 赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

- 赤外シンクロ装置（当社製）を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。

赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき



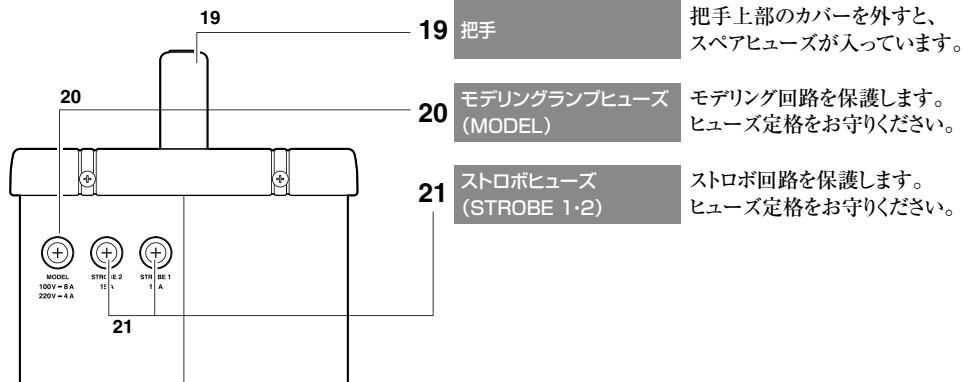
4 液晶表示内容

1. ID No:1~15
2. CHG-MODE:Quick/Slow (P11参照)
3. SOUND-MODE:Off/Chg/Ready (P11参照)
4. MODEL-MODE:Off/Vari/Const1/Const2 (P11参照)
5. HEAD 1:Long/-300K/-200K/-100K/・Normal/+100K/+200K/+300K/Short (P12参照)
6. HEAD 2:Long/-300K/-200K/-100K/・Normal/+100K/+200K/+300K/Short (P12参照)
7. HEAD 3:Long/-300K/-200K/-100K/・Normal/+100K/+200K/+300K/Short (P12参照)

*項目5/6/7は、発光部有無によって、表示されない場合があります。

*項目5/6/7の内容(データ)がない場合があります。

- 9 フォトセル 他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。
- 10 USBコネクター コンピュータと接続します。
- 11 シンクロソケット 付属のホーンジャックタイプのシンクロコードでカメラと接続します。
- 12 出力表示 出力値をワット数表示します。
不発光のとき該当します出力表示部が点滅します。
- 13 フォトセルスイッチ(P.CELL) 他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。
- 14 各灯スイッチ 出力表示部が表示されていない時、押すと表示され、発光可能になります。
表示されている時、押すと「OFF」表示になり、発光不可能になります。
- 15 モデリングランプスイッチ モデリングランプが消灯時に、押すとLEDが点灯し、該当する発光部が点灯します。点灯時に押すと消灯します。
ただし、液晶表示部のMODEL-MODEが優先します。
- 16 レディーランプ(READY) テスト発光スイッチ 充電が完了すると点灯します。
点灯している部分を軽く押すと発光します。
出力を上げた時、点滅します。
- 17 ストロボ出力を0.1EVずつUPします。連続押しで1.0EVずつUPします。
- 18 ストロボ出力を0.1EVずつDOWNします。連続押しで1.0EVずつDOWNします。



4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続します

ヘッドコードを電源部の出力モードに合わせて、出力コネクターへ接続します。

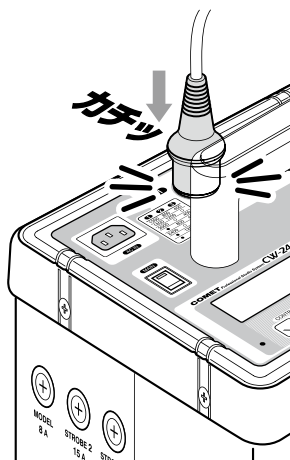
"カチッ"と音がするまで十分に差し込んでください。

【ご注意】

- コネクターを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが損傷し、発火の恐れがあります。

また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ (MAIN) を必ず「OFF」にしてください。

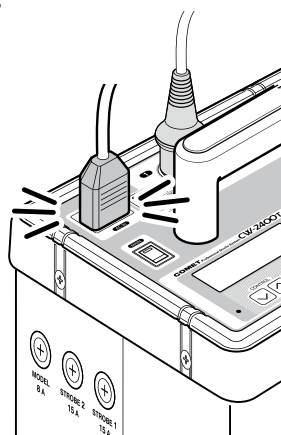
- モデリングランプの定格が使用する地域の電圧に合っている事を確認してください。



■ 2. 充電サウンドを選択します

充電状態を知らせるサウンド (SOUND) が必要なときは、「充電完了音 = READY」「充電中音 = CHG」のいずれかにセットします。

- 警報はサウンドスイッチのモードに関係なく鳴ります。



■ 3. ACコードを接続します

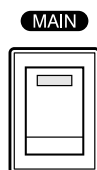
電源部のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターへ、十分に差し込んでください。

そのあと、ACコードをコンセントへ差し込みます。

■ 4. メインスイッチを「ON」にします

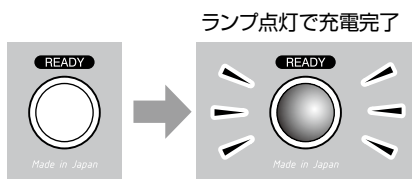
メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

ACパイロットランプが点灯して充電が始まります。



■ 5. 充電の完了

充電が完了すると、完了ランプ（テスト発光スイッチ兼用）が点灯し、発光準備が完了します。



■ 6. 各灯スイッチを選択します

出力表示部下の各灯スイッチで発光させる発光部を選択します。

■ 7. モデリングランプモードを選択します

液晶表示部下のキーでモデリングランプの点灯モードを選択します。

出力表示部下の (MODEL) スイッチでモデリングランプの点灯モードを選択します。

■ 8. テスト発光をします

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

■ 9. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ（同調）テストをされることをお勧めします。

【ご注意】

- カメラまたはレンズに M/X 接点があるときは、必ず X 接点を使用してください。
- シャッター速度を 1/60 以下で使用してください。

5 出力モード

出力モードは、使用する出力コネクターと灯数で選択します。

調光は各々の出力値を最大出力として、出力バリエーターで1／32まで調光できます。

コネクター番号	①	②	③
1灯	2400	—	—
1灯	—	1200	—
1灯	—	—	400
2灯	1200	1200	—
2灯	2000	—	400
2灯	—	800	400
3灯	1200	800	400

単位(Ws)

【ご注意】

- コネクターを脱着するときは、必ずメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にしてから行ってください。

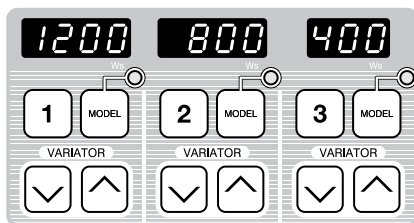
6 出力バリエーター

出力バリエーター（VARIATOR）は、各出力をFULLから1/10EVステップで1/32まで調光します。

1. 各灯表示部下の☑☐で調光します。
連続押しで±1EVステップになります。

2. 各灯スイッチ

出力を表示している時、スイッチを押すと対応する発光部を発光停止及び出力表示を「OFF」表示します。



本機は電圧調光方式を採用していますので、出力を下げた時には、カラ発光が必要です。
この時、完了ランプが点滅します。

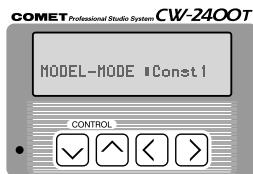
7 モデリングランプモード

モデリングランプは常に 50%・100%点灯(CONST 1・2)、ストロボ出力と連動して明かるさが変化(VARI)、消灯(OFF)の4つのモードから選択することができます。

※液晶表示部下のキー ☒ ☒ で「MODEL-MODE」を選択。

☒ ☒ でモデリングの点灯モードで選択します。

※モデリングランプの定格電圧を確認してください。



■ OFF

モデリングランプを消灯します。

■ VARI

モデリングランプはストロボ出力 2400Ws のとき、100%の明かるさとして、各ストロボ出力に連動して、ストロボ出力 1 / 16 (150Ws) の明かるさまで調光します。

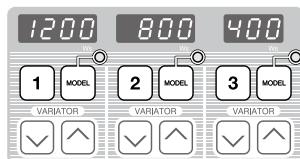
※ストロボ出力 150Ws 以下は一定の明かるさになります。

■ CONST1・2 出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが常に 50%・100%の明かるさで点灯します。

■ 各灯モデリングスイッチ

- ・各発光部毎にモデリング ON/OFF の選択ができます。
- ・ON の場合、LED が赤く点灯します。

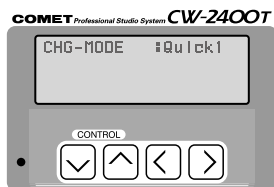
※液晶表示部内の「MODEL-MODE」が優先されます。



8 充電モード

使用状況や電力事情によってプレーカー容量が不足のときは、スロー充電モードで使用することができます。

液晶表示部下のキー ☒ ☒ で「CHG-MODE」を選択し ☒ ☒ で Quick / Slow モードを選択します。



9 充電サウンド

充電の状況をブザー音で知らせます。

液晶表示部下のキー ☒ ☒ で「SOUND-MODE」を選択し ☒ ☒ で消音(off)／充電中音(chg)／充電完了音(Ready) モードを選択します。



10 色温度選択／閃光スピード選択機能

液晶表示部下の ☒ ☐ で「HEAD1」、「HEAD2」、「HEAD3」の項目を選択します。

☐ ☐ キーを押す毎に右側の項目が変化します。

Long ↵
↶ -300K → -200K → -100K ↷
↶ Normal ↷
↶ +100K → +200K → +300K ↷
↶ Short

■ Short / Long の選択をした場合

同光量で、色温度は、ランダムになります。

Long 選択 → その光量の中で一番閃光時間が長くなります。

Short 選択 → その光量の中で一番閃光時間が短くなります。

■ 色温度選択をした場合

① ±100K から ±300K の表示は、Normal で選択した同光量で色温度を変化できます。

(閃光時間はランダムに変化します。)

② 選択できない項目もあり、その場合、充電完了ランプが消灯します。

【ご注意】

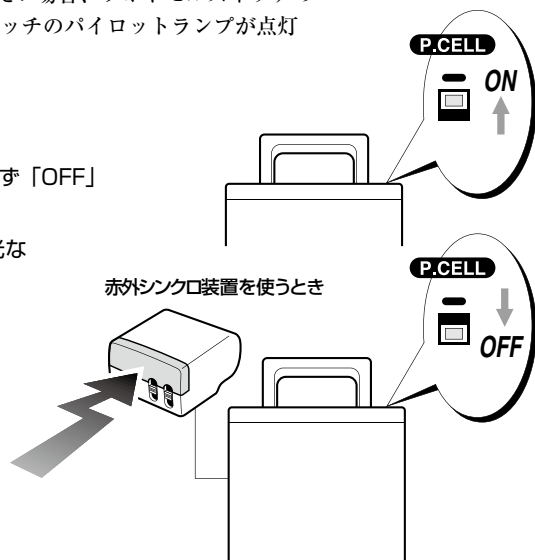
本機はシリーズカット調光と電圧調光も併用していますので、出力を下げると、充電完了ランプが点滅する場合があります。その時カラ発光の必要があります。この場合、大光量発光になる場合があります。

11 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光したい場合、フォトセルスイッチの「P.CELL」を「ON」にします。スイッチのパイロットランプが点灯します。

【ご注意】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。
- PC により、コントロールするときは、「OFF」にしてください。



12 不発光警報

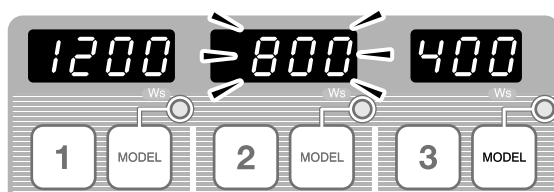
発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、該当する出力コネクタの出力表示（デジタル数字）が点滅し、ブザーが鳴り、不発光を知らせます。

充電完了前に発光操作を行ったときも、同様に警報が出ます。

- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。または、キー操作及びメインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除されます。



13 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ (MAIN) のパイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、ただちに使用を中止してください。

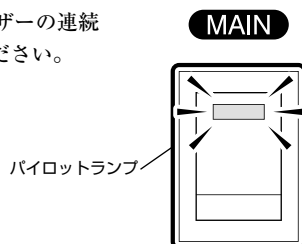
- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることで解除されます。

【ご注意】

- 冷却を早めるために、メインスイッチ (MAIN) を「ON」にし、発光操作をせず、通電状態で風通しの良いところに置いてください。このとき、モデリングスイッチ (MOD) は「OFF」にしてください。



14 ヒューズ交換

ヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 予備ヒューズは把手内に収納されています。



MODEL
100V - 8 A
220V - 4 A



STROBE 2
15 A



STROBE 1
15 A

STR 1	15A
STR 2	15A
MOD (110V)	8A
MOD (220V)	4A

- ヒューズは必ず定格のものを使用してください。

15 コンピュータとの接続・操作

■ CW-2400Tc 『PCC System』 について

PCC System とは、パーソナルコンピュータコントロールの略です。

CW-2400Tc のすべての機能を、PC モニター上で最大 15 台 45 灯を操作・管理・保存することが出来ます。

◎本 PCC ソフトは、Windows 2000・Me・XP 用 容量 30MB です。

◎多台数の CW-2400Tc を接続する際は、既製品の USB ハブをご用意ください。

■ インストールの方法

- ①最初に PC を立ちあげてください。
- ② CD-ROM 『PCC System』 を CD-ROM ドライブにセットします。
- ③デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックで開き「CD-ROM ドライブ」アイコンをダブルクリックにより開いてください。「Win」フォルダが表示されます。
- ④「マイコンピュータ」内の「(C:) ドライブ」内へ、CD-ROM 内の Win フォルダ『PCC SYSTEM』フォルダをドラック アンド ドロップでコピーしてください。インストールは完了します。

■ CW-2400Tc と PC の接続

- ① PC と CW-2400Tc 電源部のメインスイッチを「OFF」にします。
- ②ヘッドコードを CW-2400Tc 電源部に接続します。
- ③電源部に CR シンクロコードを接続します。
- ④マスターテストスイッチを使用する場合、各 CW-2400Tc 電源部のシンクロソケット間を電源接続シンクロコードで、すべて接続します。
- ⑤ PC と CW-2400Tc 電源部のメインスイッチを「ON」にしてください。
- ⑥ USB コードで PC と CW-2400Tc 電源部を接続します。
- ⑦各 CW-2400Tc 電源部の液晶表示内 1. の ID No: を数字が、重ならないよう各電源部に固有の ID No:(1 ~ 15) を△▽で設定します。
- ⑧ CW-2400Tc 電源部を初めて接続したとき、PC よりドライバーソフトのインストール要求があります。(ドライバーソフトのインストール項目を参照)
- ⑨『PCC SYSTEM』フォルダをクリックして、開いてください。
- ⑩『Pcc System』アイコンをダブルクリックし PCC ソフトを起動させます。
- ⑪接続されている CW-2400Tc 電源部の台数分の操作画面が表示されます。
※データ部分で誤差が生じた場合は、リロード「Reload」ボタンをクリックして再読込を行ってください。
- ⑫ CW-2400Tc 電源部を PC モニター上で操作が可能になります。

【ご注意】

- PC と接続されている間は、CW-2400Tc 電源部での操作はできません。
- CW-2400Tc 電源部本体で操作する場合は、メインスイッチ一旦「OFF」にし再度「ON」にしてから操作を行ってください。
- USB コードとヘッドコードは、できる限り離してください。ストロボ発光時のノイズで、誤作動が起きる可能性があります。
- ID No: の重複には、ご注意ください。

■ドライバーソフトのインストール

- ① CW-2400Tc 電源部をはじめて PC と接続するとドライバーソフトの要求があります。
 - ② ドライバーソフトは『PCC SYSTEM』フォルダ内にある、R で始まるフォルダ名 (R9032148) 等がドライバーフォルダです。
 - ③ PC から指示がありましたら、このフォルダを選択してください。
 - ④ 接続台数分の、ドライバーソフトのインストールが必要になります。
- (1) USB コードを接続すると、下記の画面が表示されます。



- (2) インストール方法を [一覧または特定] を選び、「次へ」をクリックします。

ドライバーの位置を指示する画面です。[次の場所***] をチェックし、R9032148 ホルダーの場所を指定します。あっている場合は、そのままにします。

[参照] ボタンをクリックすると、簡単に入力ができます。

クリックすると、(3)の画面が表示される。



(3)参照を押し、ドライバーソフトがある位置を指定します。(この場合、R9032148 ホルダー)



(4)下記のウィンドウが表示されるが、続行ボタンを押します。



(5)再度、最初の画面が表示され、同じように操作を行ってください。

● CW-2400Tc 電源部と PC のはずし方

①『Pcc System』を終了させます。

「ファイル」よりプルダウンで終了またはCOMET PCC SYSTEMファイル右上側にある閉じる(×印)をクリックして終了します。

② USB コードをはずします。

● PC と接続中の諸注意

下記の操作を行う場合は、● CW-2400Tc 電源部と PC のはずし方①の方法で『Pcc System』ソフトを終了させてから、行ってください。

- 発光部の追加 / 取り外し
- CW-2400Tc 電源部の追加 / 取り外し
- USB コードの着脱

■コンピュータの操作

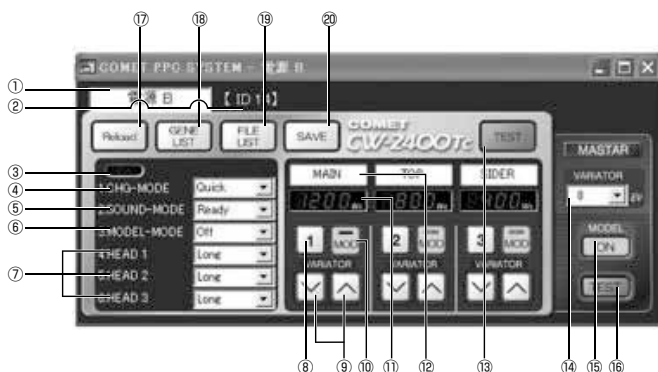
『PCC System』を立ち上げると操作画面が表示されます。

【操作画面】

- 接続されている全ての電源部の機能をPCモニター上より操作する画面です。
- 各ボタンをクリック・ダブルクリックまたプルダウンにより操作します。
- 多台数の電源部を接続すると操作画面は、重なって表示されます。
操作したい電源部の操作画面をクリックすることで選択画面が最前面に表示されます。

【ご注意】

操作画面を個別に閉じた場合は、出力は OFF に設定され閉じます。

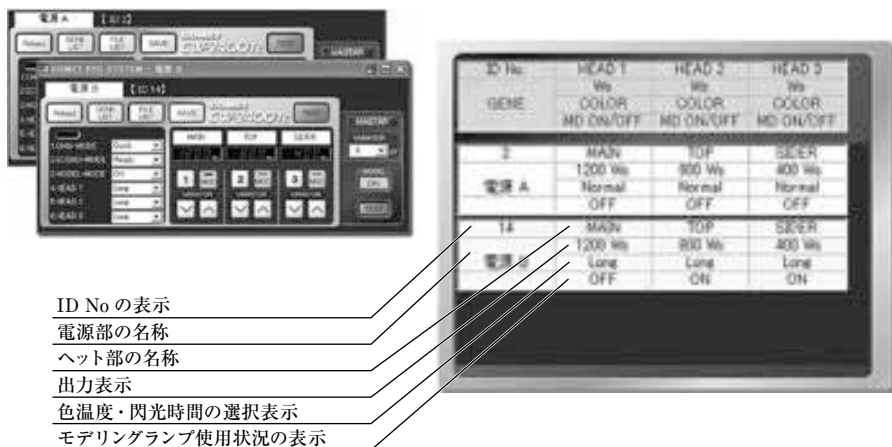


① タブ	電源部のタイトル表示 任意に入力ができます。	
② ID No	電源部で入力した ID No (1 ~ 15) を表示します。	
③ 過熱警報ランプ	過熱警報時は点滅します。	P14
④ チャージ モード	充電時間をプルダウンにより選択できます。	P11
⑤ サウンド モード	充電の状況音をプルダウンにより選択できます。	P11
⑥ モデリング モード	モデリングランプのモードをプルダウンにより選択できます。	P11
⑦ ヘッド 1・2・3	各ヘッドの色温度と閃光時間の調整プルダウンにより行えます。	P12
⑧ 各灯スイッチ	各ヘッドの「ON」「OFF」をクリックにより選択します。 ON で出力表示の Ws が表示され OFF できます。	
⑨ 調光バリエータ	ストロボ出力を「UP」「DOWN」します。 クリックで 0.1EV ダブルクリックで 1.0EV ずつの調光ができます。	P10
⑩ 各灯モデリングスイッチ	各ヘッドのモデリングランプの「ON」「OFF」をクリックにより選択します。 ON でボタン内ランプ点灯 OFF で消灯します。	
⑪ 出力表示	ストロボ出力を Ws (ワット セカンド) で表示します。	P10
⑫ ヘッドの名称	ヘッドのタイトル表示 任意に入力ができます。	
⑬ 充電完了 / テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。 クリックで該当電源部が発光します。	
⑭ マスターバリエイター	使用している全灯出力をライトバランスをかせずにプルダウンより 0.1EV ずつ ±1.0EV の調光ができます。 【ご注意】 各出力の最大値、及び最小値を超える選択はできません。	
⑮ マスターモデリングスイッチ	全電源部のモデリングランプの「ON」「OFF」を選択します。	
⑯ マスター充電完了 テスト発光スイッチ	全電源部の充電が完了すると点灯します。 クリックで全電源部で使用されているヘッドが発光します。	
⑰ リロード	操作画面の表示、又電源部・ヘッド部の接続を変更した際、クリックにより再読み込みを行います。	
⑱ ジェネ リスト	ジェネ リスト画面を表示します。	
⑲ ファイル リスト	ファイル リスト画面を表示します。	
⑳ セーブ	セーブ画面を表示します。	

【ジェネ リスト画面】

接続されている CW-2400Tc 電源部のデータを表示します。

- ジェネ リスト画面を表示しても操作画面は表示されたままになります。
- ジェネ リスト画面内の電源部表示を、クリックすると選択された電源部の操作画面が最前列に表示されます。



ID No. の表示

電源部の名称

ヘッド部の名称

出力表示

色温度・閃光時間の選択表示

モデリングランプ使用状況の表示

【ファイル リスト画面】

決定したライティングの電源部データを再度呼び出すことができます。

- 100 データをメモリーします。
- ファイルボタンをクリックすると、登録データを各 CW-2400Tc 電源部へ送信します。

【ご注意】

CW-2400Tc 電源部の ID No と、登録データの ID No 及び発光部が一致しない場合はエラーになります。
データ送信後 操作画面でデータ変更をすると使用しているファイルボタンの色が赤くなります。



ファイルナンバー

タイトル表示

- セーブ画面で入力されたタイトルが表示されます。

【ファイル リスト画面】

- ポイントをファイルボタンの上にフォーカシングするとそのファイルリストのデータが表示されます。



【セーブ画面】

操作画面のデータをファイルリストへ 保存登録する画面です。

- ① FILE No をプルダウン又は直接入力してください。入力の際ファイル リストの空いている FILE No を選択してください。
- ② TITLE を入力してください。ファイルリストのファイルボタンに表示されます。
- ③ 画像入力ボタンより画像を呼び出しサンプル画像を選び貼り付けてください。
- ④ メモを入力してください。
- ⑤ 入力が完了しましたら、SAVE ボタンをクリックして保存してください。
※保存を中止する場合は Cancel ボタンをクリックしてください。

ファイル ナンバー 入力表示
タイトル 入力表示
メモ 入力表示



画像入力 ボタン
画像画面

セーブ (保存) ボタン
キャンセルボタン

16 保証とアフターサービス

■ 保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■ 保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■ アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■ 修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■ 修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

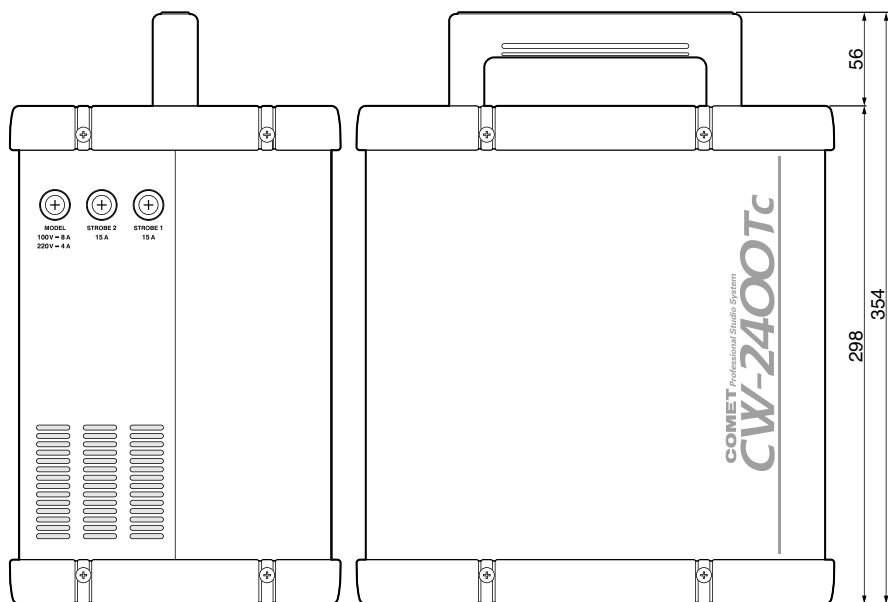
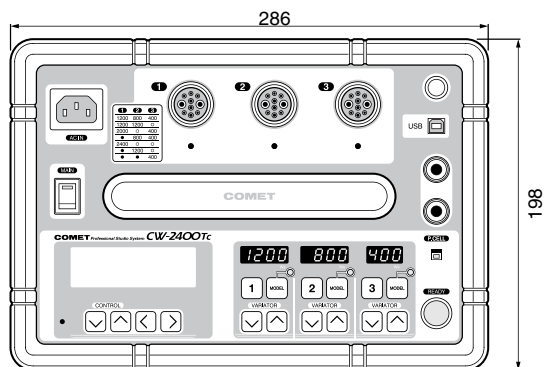
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

17 仕様

品 名	CW-2400Tc 電源部							
型 式	CW-2400Tc							
定格電圧	110V ±10%・220V ±10% ワールドボルテージ							
ヒューズ定格	ストロボ 15A 2本 モデリング 8A 1本 (110V) / モデリング 4A 1本 (220V)							
出力コネクター数	3 (CXタイプコネクター)							
外部接続機能	USBコードでPC (パソコン) と接続							
最大出力	2400Ws							
出力配分 (Ws)	出力配分は出力コネクター感知方式で使用する出力コネクターにより、 下図のように配分されます。							
		①	②	③		①	②	③
	1灯	2400	—	—	2灯	1200	1200	—
	1灯	—	1200	—	2灯	2000	—	400
	1灯	—	—	400	2灯	—	800	400
					3灯	1200	800	400
充電時間 (秒)			AC110V	AC220V				
	充電モード		50Hz	50Hz				
	クイック (Q)		3.2	2.2				
	スロ ー (S)		5.6	2.9				
	充電時間は使用するAC電源の周波数／入力電圧によって異なります。							
ストロボ調光方式	3回路独立シリーズカット調光・電圧調光							
ストロボ調光範囲	FULL～1／32 1／10 EVステップ							
許容色温度変化範囲	100K以内							
色温度選択	100kづつで±3ステップ							
閃光時間選択	Short／Long 最短1/15000秒、最長1/180秒							
出力表示	デジタル表示							
モデリング調光	1. (VARI) ※ 出力連動調光 2. (OFF) 消灯 3. (CONST 1・2) 50%・100%点灯				※モデリングランプはストロボ出力2400Wsのとき、 100%の明かるさとして、各ストロボ出力に連動し て調光します。 1／16以下は1／16の光量で一定			
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ × 2							
シンクロ電圧	DC12V							
ディスチャージ回路	内蔵							
フォトセル	内蔵 (スイッチ付)							
充電サウンド	充電完了音 (READY) ／充電中音 (CHG) ／消音 (OFF)							
不発光警報	該当する出力表示点滅とブザーによる連続音 ※充電完了前に発光操作をすると警報がでます。							
過熱警報	ACパイロットランプ点滅とブザーによる連続音							
クーリングファン	内蔵							
寸 法 (mm)	286 (w) × 198 (d) × 298 (h) (把手、突起含まず)							
重 量 (kg)	10.4							

- 色温度、閃光時間の選択幅は調光位置により制約があります。
- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 なお、この仕様は2006年3月現在のものです。

18 寸法図



19 多言語版「PCC System Ver.」のインストールについて

*対応言語 日本語 / 英語 / 中国語

- ① 最初にPCを立ち上げて下さい。
- ② CD-ROM「PCC System」をCD-ROMドライブにセットします。
- ③ デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックで開き「CD-ROMドライブ」アイコンをダブルクリックにより開いて下さい。「Win」フォルダが表示されます。
- ④ さらに「Win」フォルダをダブルクリックすると「OTHER」フォルダが表示されます。
- ⑤ 「マイコンピュータ」内の「(C:)ドライブ」に、CD-ROM内の「OTHER」フォルダにある「PCC SYSTEM」フォルダをドラッグアンドドロップでコピーして下さい。
- ⑥ コピーしたフォルダ内に「Language」フォルダがありますので、ダブルクリックして開いて下さい。
- ⑦ 各言語のフォルダが表示されます。使用する言語のフォルダをダブルクリックして開いて下さい。
- ⑧ ファイル「Location」が表示されますので、このファイルを⑤で作成した「PCC SYSTEM」フォルダにコピーして下さい。
- ⑨ インストールは完了です。
- ⑩ 実行ファイルは「Pcc System2」をダブルクリックすると、選択した言語で動作します。

ドライバーソフトのインストールについて

- ① 変更無し。(本書 P16 を参照。)

MEMO

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査
-----	----------------------------	----	----

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検 	こんな症状はありませんか ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
---	---	---

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25 サンエイハイツ101	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8625	FAX.(03)3264-8628
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1 桜通内山ビル1F	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051 広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8622	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3834	FAX.(03)5245-3836
産業機器部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8692	FAX.(03)3264-8624